

みどりとともに

第 21 号

2011年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会
水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号
林業会館 3 階



❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ	2
手賀生活環境保全林が竣工	3
石岡市の森林整備について	4
森林・林業再生プランと林業就業者の育成	5
協会だより	6~7
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が林野庁へ直接要望を行う 日本林道協会通常総会開催される	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 山口 伸 樹



明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、豪雨による山地災害が全国的に頻発する傾向にあり、昨年も列島各地で山地災害が多発いたしました。7月には、梅雨前線が九州から東北地方にかけて停滞した影響で全国的な豪雨災害が発生し、その後も局地的豪雨などにより甚大な災害が相次ぎました。

このような山地災害を未然に防止するためには、森林を健全に整備・保全し、地球温暖化の防止や国土の保全、水質源の涵養といった森林の持つ公益的機能を高度に発揮させることが大変重要であります。

県においては、森林湖沼環境税を活用して間伐等の森林整備を進めておりますが、森林整備を

効率的に進めるための基盤となる林道等路網の整備は不可欠であり、計画的に整備する必要があります。また、山地災害に備えて県土を保全し、県民の安全・安心を確保するための治山対策が急務となっております。

このような中で、当協会としましては、関係機関と連携して治山・林道事業が円滑かつ効率的に推進するよう一層の努力をしまいる所存でございます。さらに、当協会を取り巻く環境は、治山・林道事業の減少に加えて入札制度の改善によりコンサルタント業務の受注額が減少するなど一段と厳しさを増しておりますが、今後の協会の運営や活動のあり方及び公益法人制度改革への対応等について、基本的な方向性を定めて適切に対処してまいりたいと考えておりますので、本年もなお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 宮浦 浩 司



新年あけましておめでとうございます。謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国においては、10年後の木材自給率を50%以上とすることを目指して策定された「森林・林業再生プラン」の実現に向けた検討が重ねられ、森林計画制度の見直しや路網整備・人材育成などを柱とした具体的な方針がとりまとめられました。

また、県においては、木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用する「緑の循環システム」の確立による、林業・木材産業の活性化と機能豊かな森林づくりのため、平成20年度から導入した「森林湖沼環境税」を活用し、間伐や木材利用等の推進に取り組んでおります。

さらに、平成23年4月を始期とする新たな「茨城県森林・林業振興計画」を策定中であり、持続可能な森林経営の実現や県産材の利用拡大、機能豊かな

森林の育成などを基本方向とする施策を検討しているところです。

森林・林業の再生と活性化を図るには、林道等の路網を整備し、森林施業の集約化や効率的な間伐等による木材の安定供給を推進していく必要があります。ついては市町村や森林組合等と連携を図り、作業道等を含めた路網の整備に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、森林の公益的機能の維持・向上等を通じて、山地災害を防止し、県民の安全・安心な生活を守る治山事業の計画的な実施に、今後も努めてまいります。

最後に、県といたしましては、引き続き県土の保全と機能豊かな森林づくりを推進してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

手賀生活環境保全林が竣工

茨城県鹿行農林事務所林業振興課

手賀生活環境保全林は、平成19年度から平成21年度の3ヶ年で総事業費約2億円を投じて整備した保全林で、平成22年4月に行方市に管理移管したものです。



手賀生活環境保全林全景

当該事業地は、農業用貯水池である「新池」周辺の約12haの森林で、クヌギ・コナラ林やスギ・ヒノキ林、竹林など様々な植生が分布しており、周囲には小学校や老人ホーム、病院などがあり、森林学習や野外活動の拠点として、さらには森林セラピーの場としても期待されている箇所です。

主な整備としては、①優れた風致景観である平地林の保全と森林の公益的機能の維持・向上を図る。②地域の身近な森林環境学習の場としての森づくりを行う。③子供からお年寄りまで、誰もが楽しめる森林空間を創出する。の3つの基本方針により、郷土樹種を中心とした森林整備を主体に、身障者でも森林散策を楽しめる歩道のバリアフリー化や景観に配慮し地域材を有効に利用した構造物の木製化等を図りました。

管理移管を受けた行方市の主催により、平成22年6月2日に、地域の住民や地元の手賀小学

校の児童など約150名が出席し、開園式典が開催されました。

開園式典では、市民に親しみをもってもらうために募集した「手賀ふれあいの森」という愛称が付けられ、命名者となった手賀小学校5年生の児童に感謝状が贈られました。

また、行方市と共に今後維持管理を担うことで設立された森林ボランティア団体「手賀ふれあいの森を守る会」も参加し、伊藤孝一行方市長の開園宣言を始めに、関係者らによるテープカットが行われました。



関係者によるテープカット

その後、手賀小学校の児童や関係者らによりイチョウやヤマボウシなどの記念植樹が行われ、環境保全の誓いを新たにしていました。

自然環境への関心が高まっている現在、県としても県民協働による森林づくりが一層活発となるよう積極的に支援して行きたいと思えます。

町から
村から

石岡市の森林整備について

石岡市経済部農政課

石岡市は、平成17年10月1日に旧石岡市と旧八郷町が合併し、新「石岡市」となりました。

本市は、茨城県の中央に位置しており、市の大半は関東平野特有の平坦な地形で、西部から北部にかけては、筑波山系が連なり、そこから市街地に向けてなだらかな丘陵地が広がっています。

本市の総面積は21,338haで、そのうち森林面積は、7,810haであり、森林の占める割合は、36.6%です。樹種は、スギ・ヒノキの優良人工林を多く有しています。

本市では、森林の持つ多面的機能を総合的に発揮させるため、適切な施業の実施により健全な森林資源の維持造成を推進しているところです。

具体的な事業として、森林機能緊急回復整備事業、身近なみどり整備推進事業、いばらき木づかい環境整備事業などがあげられます。

森林機能緊急回復整備事業においては、水源かん養及び山地防災機能の増進、また、木材等生産機能の増進を目的に、間伐作業を行っております。昨年度は、8団地で合計116.41haの間伐を行いました。



森林機能緊急回復整備事業施工後

身近なみどり整備推進事業においては、生活環境保全及び保健文化機能の増進を目的に、通学路や公共施設、住宅団地等周辺の森林の整備を行っております。昨年度は、住宅地周辺で、多くの小学生が通学に使用している道路沿いの平地林の整備を行いました。これまでは、見通しが悪いだけでなく、歩道が薄暗くなっていたため、本整備を行ったことで多くの方々が安心して通行できるようになりました。

また、整備地では、小学校の児童約60名による植樹祭が行われ、自然の大切さを学ぶ環境教育の場として活用されました。



身近なみどり整備推進事業「植樹祭」

いばらき木づかい環境整備事業においては、昨年度、新設された市立保育所の建設に要する木材に県産材を使用し、県産材の利用促進に伴い、林業の活性化を図っております。

これらの事業や体験活動をとおして、森林に対する市民の意識向上に努めるとともに、森林機能の向上を図りながら森林の整備を進めて参ります。

森林ネットワーク

森林・林業再生プランと林業就業者の育成

(社) 茨城県林業協会

(社) 茨城県林業協会は、「茨城県林業労働力確保支援センター」として、知事から指定を受け、林業労働力の確保・育成や林業事業体における雇用改善の指導等に関する業務を行っております。とりわけ、林業就業希望者を対象とした緑の雇用担い手対策事業は、平成15年度から開始され、今年度を含めると約180名を対象に研修を実施しています。昨年度までの実績では、研修修了者のうち約8割が林業事業体に定着し活躍されているなど、林業の機械化と併せて就業者の若返りが図られています。



伐倒技術研修

当事業は、今年度で修了の予定ですが、昨年12月に策定された「森林・林業再生プラン」の実現に不可欠な人材を育成するため、農林水産省の平成23年度予算概算要求の中には、「緑の雇用」現場技能者育成対策として、1.新規就業者を確保・育成する①フォレストワーカー（林業作業士：林業作業に必要な基本的な知識、技術・技能を習得し安全に作業を行

いう者）の育成（就業経験1～3年目）

- 2.林業就業者のキャリアアップの道筋を示す
- ②フォレストリーダー（現場管理責任者：作業班員を指導し間伐等の作業の工程管理が出来る者）の育成（5年目）
- ③フォレストマネージャー（統括現場管理責任者：複数の作業班を統括できる者）の育成（10年目）
- 3.簡易で丈夫な森林作業道作設のスペシャリストを育てるオペレーター育成のための研修が盛り込まれています。

これらの研修のカリキュラムや実施体制については現在検討中ですが、今年度も「林業就業者能力向上対策事業」において、就業5年及び10年以上の経験者を対象に、作業班長や統括的な作業班長として活躍できる人材育成を目的とした研修が行われることになっており、本県からも、それぞれ2名参加する予定です。今後は、ますます専門性の高い技術者の養成が進められるようです。



作業道開設研修

協会だより

1. 関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が 林野庁へ直接要望を行う

平成22年6月30日(水)、山梨県北杜市で開催された、第31回関東甲静地区治山林道協会連絡協議会通常総会において、各都県協会から提案された要望を「平成23年度治山事業及び林道事業についての要望書」として取りまとめ、8月31日(火)に林野庁へ関東甲静地区協会(1都8県)の代表者が直接要望を行いました。

要望事項は次のとおりです。

【林道事業 要望事項】

1. 林道事業の補助率の引き上げと林道事業の採択要件の緩和
2. 林道事業に係わる事業体系の見直し
3. 林道改良事業の採択要件の緩和
4. 林道の改築、改良、舗装における費用対効果便益算定因子の提示
5. 作業道補助事業の一層の充実
6. 林道の維持管理のための補助制度の創設
7. 林道の重要構造物(橋梁、隧道)の改修にかかる予算枠の確保
8. 農山村地域整備交付金による森林基盤整備事業の拡充強化

【治山事業 要望事項】

1. 治山事業の推進と予算枠の拡大
2. 復旧治山事業の予算枠の確保と採択要件の緩和
3. 予防治山事業の予算枠の確保と採択要件の緩和
4. 森林整備関連事業の予算枠の拡充と採択要件の緩和

5. 民有林直轄治山事業の充実
6. 漁場保全の森づくり事業の継続
7. 海岸防災林造成事業の予算枠の拡大

【治山・林道事業 共通事項】

1. 森林環境税の創設
2. 交付金事務の簡素化・迅速化
3. 国庫補助事業の事務費廃止に伴う地方債化でなく、交付金の創設を

《要望先》

林野庁長官、次長、林政部長、林政課長、
森林整備部長、計画課長、整備課長、治山課長

《要望参加県》

(社)山梨県治山林道協会
(社)静岡県山林協会
群馬県治山林道協会
(社)栃木県治山林道協会
神奈川県森林協会
(社)千葉県治山林道協会
(社)茨城県治山林道協会
東京都治山林道協会
(社)埼玉県治山林道協会



林野庁長官(右から4人目)と各協会代表者

2. 日本林道協会通常総会開催される

平成 22 年度の日本林道協会通常総会が平成 22 年 11 月 16 日(火)午前 11 時から、東京都千代田区のホテル「ルポール麹町」2 階(ロイヤル)において、全国の協会関係者など多数出席の中、盛会に開催されました。

総会は山口俊一会長(徳島県協会長・衆議院議員)が議長となり、議事進行を行い原案のとおり可決承認されました。



挨拶をする山口俊一会長

午後 1 時から、日本林道協会創立 60 周年記念式典・功労者表彰及び(社)日本治山治水協会、日本林道協会共催の平成 22 年度治山・林道コンクールの表彰式が行われました。

本県関係では、元理事で旧緒川村長の内田善博氏(右:写真)が永年にわたり積極的に林道事業を推進したことにより、功労者として、林野庁長官賞を受賞し、また、当協会総務課の高橋主任が永年勤続により日本林道協会長より感謝状を授与されました。



治山・林道コンクール表彰では、8 月に当協会主催で開催された茨城県内の民有林治山・林道関係コンクール審査で優秀な成績をおさめたものを推薦した結果、次の方々が各賞を受賞しました。

【治山・林道コンクール受賞者】

《治山工事コンクール》

☆(社)日本治山治水協会会長賞

(株)内田建設 代表取締役 内田鏡子
工事名

平成21年度 第4号海岸防災林造成事業
(銚田市玉田地内)



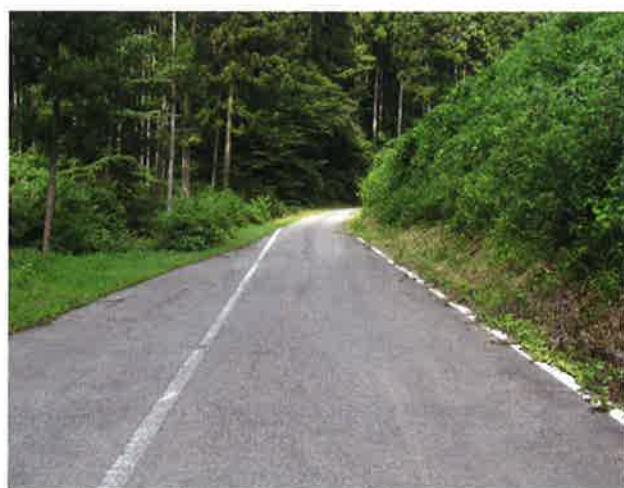
第4号海岸防災林造成事業

《林道維持管理コンクール》

☆日本林道協会会長賞

常陸大宮市長 三次 真一郎

路線名 森の入牛落線(常陸大宮市高部地内)



林道「森の入牛落線」

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- ▲ 6月30日～7月1日
 - ・ 関東甲静地区治山林道協会連絡協議会第31回通常総会(山梨県)
- ▲ 7月13日
 - ・ 茨城県民有林治山・林道関係コンクール打合せ会議(水戸市)
- 7月28日
 - ・ 公有林野全国協議会 通常総会(東京都)
 - ・ 森林・林業再生プラン(中間報告)説明会(東京都)
- ▲ 8月1日
 - ・ 講演会「子どもと大人のための森林セラピー」(水戸市)
- 8月5日
 - ・ 公益法人制度改革対応等第1回検討会(水戸市)
- 8月25日
 - ・ 茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会(水戸市)
- 8月26日
 - ・ (社)日本治山治水協会 通常総会(東京都)
 - ・ 自民党県連政務調査会へ県政要望(水戸市)
- 8月30日
 - ・ 新公益法人制度への移行に伴う税制に関する説明会(水戸市)
- 8月31日
 - ・ 関東甲静地区常勤役員会議(東京都)
 - ・ 平成23年度治山林道事業について林野庁へ要望活動(東京都)
- ▲ 9月7日
 - ・ 第47回関東・中部地区治山林道研究発表会(福井県)
 - ・ 国有林における収獲調査業務に関する説明会(東京都)
- 9月14日
 - ・ 全国治山林道協会会長会議(東京都)
- 9月21日
 - ・ (社)茨城県林業協会幹事会(水戸市)
- ▲ 10月3日
 - ・ 第34回全国育樹祭(群馬県)
- 10月7日～8日
 - ・ 役員現地研修会(兵庫県)
- 10月16日
 - ・ グリーンフェスティバル2010(水戸市)
- 10月20日
 - ・ 公益法人制度改革対応等第2回検討会(水戸市)
 - ・ 民主党・自民党の県選出国會議員へ政策要望(東京都)

- 10月27日～28日
 - ・ 北関東治山林道協会連絡会議(群馬県)
- ▲ 11月8日～12日
 - ・ 低コスト基幹作業道整備推進指導者研修(群馬県)
- 11月16日
 - ・ 日本林道協会理事会・通常総会(東京都)
 - ・ 日本林道協会創立60周年記念式典・功労者表彰及び治山・林道コンクール表彰式(東京都)
- 11月17日
 - ・ 公益法人制度改革対応実務研修(水戸市)
- 11月26日
 - ・ 第2回理事会(水戸市)
- ▲ 12月1日
 - ・ 茨城県森林組合連合会「宮の郷木材流通センター」及び八溝多賀木材乾燥協同組合「木材乾燥施設」竣工記念式典・祝賀会(常陸大宮市)

今後の予定

- 1月6日
 - ・ 明日の茨城づくり新春の集い
- 1月25日
 - ・ 平成23年林業団体合同新年の集い
- 1月27日
 - ・ 全国治山林道協会会長会議
- 2月8日
 - ・ 茨城県農林水産振興協議会セミナー
- 2月16日～17日
 - ・ 治山林道コンサル技術研究会

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「紅梅咲く」(水戸市森林公園)
佐藤征男氏撮影